

木津川市

第22号

議会だより



ありがとう校舎・運動場 (木津中学校)

お越しください 市民と議会のつどい

本会議	2～4	クリーンセンター建設特別委員会	11
補正予算特別委員会	5	議会報告会・議会日程	12
決算特別委員会	6・7	組合議会報告	13
採決結果	8	一般質問	14～23
研修報告	8	わたしの意見	24
常任委員会	9～11		

11月10日(土)
10:00～12:00 加茂文化センター
14:00～16:00 アスピアやましろ
19:00～21:00 高の原小学校
11月11日(日)
14:00～16:00 梅美台小学校
19:00～21:00 市役所

を強化せよ

9月定例会は、8月31日から27日までの28日間の会期で開催した。認定11件・議案17件・議員提案1件を審議し、認定・可決した。

一般会計決算

23年度決算は、収入24億5197万円、支出23億3115万円。収支は、6億2081万円で、翌年度に繰り越す2億586万円を差し引いた実質収支は、4億1494万円となった。

酒井 弘一

賛成討論

積立金（貯金）は、102億4818万円。地方債および債務負担行為（借金）は、358億6990万円となった。

伊藤紀味枝

賛成多数で可決

（賛成21人・反対2人）

Q 不納欠損額が1億4122万円と高額だが。
A 税機構が2年目になり整理が進んだため。
Q 収入未済の取り組みは。
A 現年度分は99・09%の徴収率。強化していく。

反対討論

市民の厳しいくらしを

国保会計今年も黒字

国保会計は、基金に5千万円を積み立て、2億74万円の黒字である。

Q 不納欠損は適切か。
A 税機構と連携をはかり実施している。

Q 請求権を行使せよとの監査意見をどう思うか。
A 悪質な場合は、差し押さえも実施している。本人と十分話しながら進めている。

反対討論

合併してから2回の値上げがあり、所得に対して負担が拡大。その黒字を基金に回している。国の責任放棄に同調せず、市民を守るべき。

西山幸千子

賛成多数で可決

（賛成21人・反対2人）

一般会計における主要財政分析指標

区分	23年度	数値の説明
財政力指数	0.667	財政力の強弱を示す指標であり、1.00に近いほど財源に余裕がある
経常収支比率	91.4%	財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きい
公債費比率 (3カ年平均)	12.8%	自治体の財政健全度をはかる指標で、支出に占める返済金の割合

23年度決算 監査報告(要約)

市税の収納率が94・4%と、収納体制の強化が図られ現年課税分収入額は増加している。
しかし、多額の収入未済額が生じている。早期徴収および滞納の未然防止に努めることが重要。

特別会計等決算状況

万円未満の金額は切り捨て

特別会計名	収入額	支出額
国民健康保険	64億2582万円	62億2574万円
後期高齢者医療	5億4441万円	5億4182万円
介護保険	35億7881万円	35億2741万円
公共下水道事業	21億1243万円	20億9260万円
簡易水道事業	1億4354万円	1億3964万円

特別会計名	収入額	支出額
4財産区	2429万円	2222万円
水道事業	27億3817万円	30億8824万円
収益的収支	15億6421万円	15億5935万円
資本的収支	11億7396万円	15億2889万円

未収金の徴収

梅美台小校舎増築に多額の補正

Q 梅美台小増築費5億5200万円は当初予算で上げるべきでは。

A 当初3階建ての12教室で考えていたが、4階建ての16教室が必要となり、補助金申請を前倒して、26年4月に開校をめざす。

Q 地方交付税1億3316万円の多額の減額は、なぜか。

A 算定方法が変わり、人口密度の低い所に優位になったため。

Q 学校の有人警備は今後どうするのか。

A 2学期は今のままで行ない、今後、機械警備にしていく。

反対討論

小学校の警備を機械警備に代えるのは、児童を守るために限界がある。今までどおり有人警備で行くべきで、従って1千万円の補正に反対する。

深山 國男

賛成多数で可決
(賛成18人・反対5人)

コンビニ交付で 住基カード無料

コンビニ交付のため、住基カードを無料とするもの。

Q 住基カード無料交付の期限は。

A 25年1月7日～26年12月26日。

Q カードの発行枚数の見込みは。

A 80000枚を予定。

Q 普及の向上に向けての取り組みは。

A 「広報きづがわ」等で周知する。

反対討論

国民総背番号制導入のために多額の税金を投入して、一部の業界の利益に資する改正。

二重料金制、個人情報

漏洩の問題点もある。

西山幸千子

賛成多数で可決
(賛成19人・反対4人)

コンビニで 印鑑証明を交付

住基カードを使用することにより、コンビニで印鑑証明を交付できるもの。

反対討論

住基カード普及のための施策である。投資額と利便性が見合っていない。行政サービスは人とのふれあいを充実させるのが本来のものだ。

曾我千代子

賛成多数で可決
(賛成19人・反対4人)

児童クラブに 名称変更

児童クラブ入所の条件を在住・在勤・在学の保護者に拡大するもの。

Q 小学校への市外通学者と入所希望は何人か。

A 115人で1人の希望があった。

Q 市外より在勤者の希望を取ったか。

A 市外在住者の希望は取っていない。

全員賛成で可決



増築される梅美台小学校

市長の給与を減額

度重なる事務のミスに
対しての責任をとるため、
10月分給与を10%カット
するもの。

Q 市長の判断について
副市長の考えは。また、
上下水道部の対策は。

A 市長の判断に沿う。
電算処理と検針機のミス
であり、チェック体制を
強化し、再発防止に取り
組む。

Q 市長が責任を取れば
済むだけの問題ではない。
これからの決意は。

A 担当者や職員に原因
究明や対策について十分
話した。市民の信頼回復
に努める。

賛成多数で可決
(賛成22人・反対1人)

災害復旧費を増額

最終日に提案された補
正予算は歳入歳出予算に
3千886万円を追加し、
総額272億9750万
円とするもの。

Q 今回の補正で8月の
災害復旧は全て完了か。

A 今回は公共土木施設
のみである。他は現況の
予算で対応する。

Q 準用河川谷川の復旧
工事は終わっているよう
だ。

今回の補正での対応か。
A 応急工事であり現予
算で対応した。

全員賛成で可決

木津中学校を改築

木津中学校を改築した
建物を取得するもので、
25億8千万円でURと譲渡
契約。



改築される木津中学校校舎

Q 譲渡日時が明記され
ていないがいつか。
A 26年2月28日を想定
している。

全員賛成で可決

城山台小学校 (仮称)を取得

城山台小学校(仮称)
の建物等を取得するもの
で、26億2千万円でURと
譲渡契約。

Q 価格の変更はあるか。
A 設計価格を元に譲渡
契約を結ぶ。入札によっ
て価格が確定する。

全員賛成で可決

土地改良工事の実施

最終日に提案された加
茂町、山城町の道路2件
水路1件の災害復旧を行
なうもの。

Q 維持管理費の補正は
あるのか。
A 状況によってはある。

全員賛成で可決

本会議でも 公聴会が可能に

議会運営委員会より提
出。地方自治法改正によ
り本会議で公聴会の開催
や、参考人の招致を可能
にするため会議規則を改
正するもの。

Q 公聴会は人数制限す
るのか。

A これから議会運営委
員会等で協議していく。

Q 地方自治法が改正さ
れ、政務調査費の使途が
拡大できるが考えは。

A 全員協議会で、話し
合っていく。

全員賛成で可決

児童増加により校舎増築へ

補正予算特別委員会

9月10日に委員会を開会。一般会計予算に3億6437万2千円を増額し、272億5864万円とする内容。賛成多数で可決。

主 な 質 疑

Q 電子計算費の基幹業務システム維持管理費の503万円に国の支援はあるのか。

A 国の補助金等はなく、要望していきたい。

Q 介護マーク作成費13万円の内容は。

介護マークを着けることの効果と有効性は。

A 500個を予定。着用することで周囲に知ってもらい普及に努めたい。



未耕作地の解消を

Q 京力農場プラン作成費の青年就農給付金600万円の内容と対象者の選考は。

A 未耕作地に対する農地の集積対策を行なう事業である。農業の担い手を集める仕組みづくりのために地域毎にプランを策定し、45歳未満の20年以降の独立自営の就農者を対象に75万円の補助を行なうもの。8人を予定。対象者は聞き取りにより選考を行なう。

Q 通学路の安全対策事業費450万円の内容は。

A 市内4カ所に道路の外側線やガードパイプを設置するもの。

補正予算の主な事業

・梅美台小学校校舎増築事業	1億5,600万円
・新設小学校用地取得事業	4,250万円
・証明書コンビニ交付の推進	1,195万円
・京力農場プラン作成事業	645万円
・不活化ポリオワクチン接種対応	5,198万円
・学校安全対策事業	1,046万円

委員長
副委員長
委員

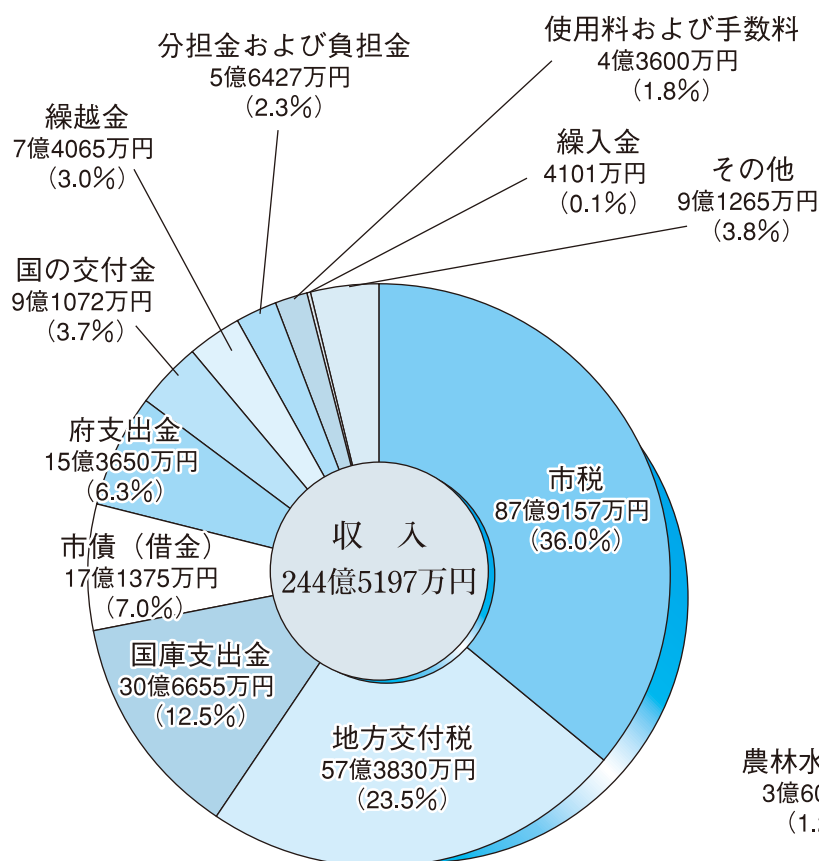
高岡 伸行
西岡 政治
河口 靖子
伊藤 紀枝
倉 克伊
柴田 はすみ

七条 孝之
酒井 弘一
深山 國男
谷川 光男
西岡 孝之
高味 努

前年度と比べ微減 扶助費など増で決算額238億円

決算特別委員会

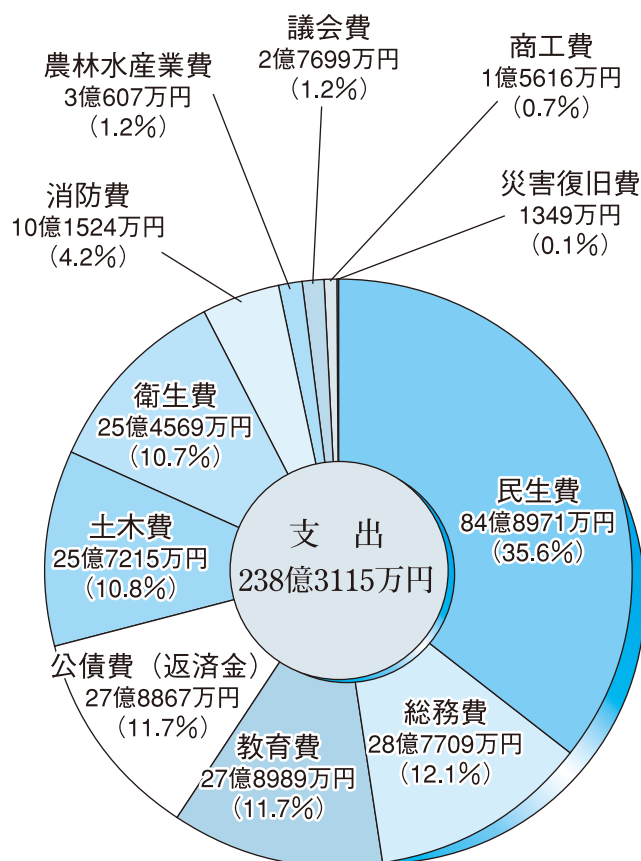
9月21日から3日間、決算特別委員会（長岡一夫委員長、島野均副委員長）は、議長と監査委員を除く22人で審査。23年度一般会計の決算を税収など収入の状況、各分野の施策の成果から適正に執行されたか審査し、賛成多数で認定した。



主な事業の決算額 (平成23年度一般会計)

基金への積み立て	4億3919万円
バス運行事業	1億287万円
山城支所庁舎整備事業	6550万円
企業立地促進事業	7748万円
市長選挙及び市議会議員選挙事業	3887万円
福祉医療費助成事業(母子・子育て)	2億1879万円
予防接種事業	
（子宮頸がん・ヒブ等ワクチン接種事業）	2億4848万円
総合がん検診事業	1億1335万円
清掃センター整備事業	5387万円
有害鳥獣捕獲、防護柵設置事業	869万円
観光振興事業	3636万円
（マスコットキャラクター作成）	293万円
納涼大会事業	560万円
木津山田川線道路改良事業	1億5579万円
木津城址公園建設事業	3億4050万円
被災地支援事業	428万円
史跡等買上事業	2億81万円

(万円未満の金額は切り捨て)



主 な 質 疑

〈市長公室・総務部〉

通離れが原因と考える。

滞納の取り組みは

した理由は。

A まち美化推進課長

焼却場の大改修に伴う西部塵埃処理組合の分担金の増によるもの。

特色のある学校づくり

は22年度に実施した。購入面積は989㎡。

討 論

反対討論

基金を積み増しをするより、市民の厳しいくらしを支え、地域経済活性化のための市の施策の充実をはかれ。

収支状況は

公用車管理状況

Q 保育料の未収が多い。徴収対策はどうするのか。

A **子育て支援課長** 23

〈建設部・教育部〉

Q 23年度決算の実質収支額4億1千万円の要因は。また、この額は適正か。

A **財政課長** 翌年度への繰越財源を除いたもので、収支は黒字となり、毎年の決算額は順調に推移している。

Q 公用車の適正台数は。修繕料増の要因は。

A **総務部次長** 25年度末で73台を目標。車検時の修繕費用が増えている。

観光振興にはずみを

〈生活環境部・保健福祉部〉

Q マスコットキャラクター「いづみ姫」を考えた。病後児保育の見直しを

少ない。見直す考えは。

きのつバス利用者減

Q 病後児保育の利用が少ない。見直す考えは。

A **観光商工課長** 2体作成し、市と観光協会ですべて所有している。積極的に検討する。

Q きのつバスの運賃が200円になり、利用者も21年度36万人から23年度は24万人と大幅に減っている。理由は。

A **子育て支援課長** 問題点は把握している。委託先の山城病院と協議を行ない改善に向けて、今後も事業を進めたい。

道路用地の鑑定評価は

Q 木津東西線整備事業費の道路用地購入費1200万円の土地鑑定手数料は。また、購入面積は。

A **都市計画課長** 鑑定

Q ごみ処理事業費が前年より1800万円増額

ごみ処理費の増額は

A **都市計画課長** 鑑定



市のマスコットキャラクター「いづみ姫」

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載 賛成＝○ 反対＝× 退席＝△ (会派ごと)

議員名	会派名	議 案 名 (第3回定例会)					
		木津川市長、副市長及び教育長の給与の減額に関する条例の一部改正	平成23年度木津川市一般会計歳入歳出決算の認定	平成23年度木津川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	木津川市手数料条例の一部改正	木津川市印鑑条例の一部改正	平成24年度木津川市一般会計補正予算第2号
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	○
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	○
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	○
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	○	○
吉元 善宏	さくら	○	○	○	○	○	○
河口 靖子	民主	○	○	○	○	○	○
炭本 範子	民主	○	○	○	○	○	○
七条 孝之	民主	○	○	○	○	○	○
西岡 政治	民主	○	○	○	○	○	○
中野 重高	民主	○	○	○	○	○	○
兎本 尚之	きづがわ	○	○	○	○	○	○
長岡 一夫	きづがわ	○	○	○	○	○	○
西岡 努	きづがわ	○	○	○	○	○	○
高味 孝之	きづがわ	○	○	○	○	○	○
島野 均	公明	○	○	○	○	○	○
柴田はすみ	公明	○	○	○	○	○	○
酒井 弘一	共産	○	×	×	×	×	×
西山幸千子	共産	○	×	×	×	×	×
呉羽 真弓	無会派	○	○	○	×	×	×
曾我千代子	無会派	×	○	○	×	×	○
深山 國男	無会派	○	○	○	○	○	×
谷川 光男	無会派	○	○	○	○	○	○
片岡 廣	無会派	○	○	○	○	○	×

※議長は採決に加わらない
さくら＝さくら会 民主＝民主改革クラブ きづがわ＝きづがわ未来クラブ 公明＝公明党 共産＝日本共産党木津川市議員団 無会派＝会派に属さない議員



加西市議と議論を交わす

24年8月21日に兵庫県加西市、22日に岡山県井原市で研修を行なった。今回の研修は、議会改革と議会活性化をテーマに研修した。議会改革では両市とも議会改革特別委員会を設置。議会基本

研修報告

議会運営委員会

議会報告会の充実へ

条例は、わが市と同時期に制定された。加西市では、討論のあと採決の前に討論者への質問や主張を行なうことを自由討議と位置づけ、討論と討議を区別して実施している。政策等の形成過程及び予算・決算の説明資料は、議案に付けてあり、質疑の重複を避ける効果がある。議会報告を年2回以上中学校区を単位に4会場で実施。内容は1部で議会報告、2部で重要な市政課題のテーマを決めて実施されているのが特徴的であった。

井原市は、正副議長選挙は立候補で行っている。議長の辞職後、休憩宣告で議場を全員協議会として10分以内の所信表明を行なう。副議長選挙も同様である。CATVが全市に放送され、所信表明を生中継している。

今回の研修は、議会改革と議会活性化を進める上で意義ある視察であった。

住基カード 2年間無料交付

厚生委員会

9月5日に委員会を開会し、議案5件、認定3件、要望書1件を審査した。

全議案可決

手数料条例の一部改正

時に合わせ、廃止する。

Q 住基カードの発行を2年間で8千枚見込んで

いるが、その考えは。

A 先進地の資料を参考に、2年間で全体の10%を見込んでいる。

Q 自動交付機は、いつ

廃止するのか。

A 25年12月の契約終了

Q 住基カードの発行は、

休日にも対応するのか。

A 申請の受付は、休日

Q 住基カードの必要性

はなにか。

A 住民の利便性の向上をはかっていくため。

反対討論

住基カードの危険性を考えない発行に反対。

賛成多数で可決

印鑑条例の一部改正

Q 印鑑証明の窓口交付とコンビニ交付で料金に

差があるのは、なぜか。
A コンビニ交付の利用率をあげるため差をつけている。

Q 料金を統一する考えはあるか。

A コンビニ交付の利用率をあげるため、統一する考えはない。

反対討論

Q 料金に差があるのは、法令上問題はないのか。
A 法令上問題はない。難しい。

住基カードの推進のためだけで個人情報危険性もあり、料金に差があるのが問題であり反対。

Q ニーズが多い長期休暇のみの受け入れを考えるべきだ。
A 検討委員会で考えていく。

賛成多数で可決

退席1人

全員賛成で可決

入所要件を拡大

Q 市外から市内に勤務している保護者の子どもを見守りクラブに入れるのはなぜか。

A 保護者の就労支援になる。

Q 市内の子ども達の長期休暇のみの利用は考え

意見書提出を

求める要望書

地域温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求めるもの。

委員会からの提出はないことにした。



廃止される自動交付機



豪雨により被害を受けた市道（岩船）

悪質な滞納には 給水停止も

産業建設委員会

9月6日に委員会を開会し、議案8件、報告3件を審査した。

全議案認定・可決

下水道決算

1983万円の黒字。

Q 宮ノ裏地区の下水道工事の現状はどうか。

A ほぼ完了。水洗化率も90%を超えた。

水道決算

Q 管の布設替えが55%まで進んだ。有収率の改善はどうか。

A 70%まで向上した。

全員賛成で認定

24年度 水道会計の補正

2554万円を追加し、4カ所の水道工事を行う。

全員賛成で可決

6月豪雨災害の農業 施設3カ所を復旧

国の補助を受けて農道や水路を復旧する。

市営住宅を レベルアップ

住宅面積を広げ、水洗トイレや駐車場整備を明記した市営住宅整備基準条例を制定する。

Q 現在の住宅で新基準に適合する数は。適合しない住宅をどうするのか。

A 適合する住宅は約90戸。全てを改善する予定はない。

全員賛成で可決

市営住宅条例の 一部改正

同居親族と収入基準を明文化する。

Q 申し込み資格に3カ

Q 中央地区の管きょ工事でURに委託費を払っているのに、職員賃金やシステム使用料が別に計上されるのはおかしい。

A 契約金額の5%を事務費に充てる。システム使用料の扱いは検討する。

Q 滞納が増えている。厳しい対処を求める。

A 悪質な滞納には給水停止措置も検討。

簡易水道決算

390万円の黒字。

Q 監査意見に「府営水の値下げ交渉に取り組み」とあるが。

A 府が従量料金を5年後に19円まで引き下げる可能性があるののでそれを意識した。

全員賛成で認定

財産区管理会の 基金の運用は

総務文教委員会

9月4日に委員会を開会し、議案4件、報告4件を審査した。

全議案認定



線下補償金の減額は

旧加茂町4財産区の
決算を審査

Q 基金の運用の判断は。
A 余裕がある場合、利率の良い有価証券で運用している。

Q 財産区によって土地貸付金や線下補償金等のずれがあるのは。

A 5年毎に契約が見直されるため、ずれが生じる。

Q 管理会委員報酬に差があるが。

A 開催日に応じて日額支給のため。

Q 旧当尾村財産区の区長会への地域振興補助とは。

A 区民運動会の費用・景品等に使われている。

全員賛成で認定

土壌調査の具体的地点を説明

クリーンセンター建設特別委員会

9月11日、委員会を開会。クリーンセンター建設に向けた主要取り組み状況（生活環境影響調査、施設基本設計、廃棄物・土壌対策計画）の説明を受ける。

主 な 質 疑

Q 廃棄物・土壌対策調査の情報提供を。

A 市民に広く公表する考えである。

Q 生活環境影響調査縦覧をHPに掲載できるか。

A どういうかたちで載せるか、検討中である。

Q 都市計画決定はどの備の予定は。

A 地域の要望を受けて、府が積極的に進めていく。

Q 西部塵埃処理組合や精華町との協議を進めているのか。

A 9月末を目標に進めている。

28年度稼働をめざし、財政面は協議・調整中である。

市民と議会のつどい(議会報告会)を開催します。

11月10日(土)・11日(日) 5会場にて

今年2回目の議会報告会を次の日程で開催します。今回は、「議会だより(11月号)」をもとに、9月定例会の内容や23年度の決算についてご報告し、市民のみなさんと意見交換を行います。

開催日時		会場	担当議員
11月10日(土)	10:00～12:00	加茂文化センター(第1・第2研修室)	河口 倉 高味 酒井 高岡 長岡
	14:00～16:00	アスピアやましろ(視聴覚・研修室)	片岡 酒井 曾我 谷川 西岡政 山本
	19:00～21:00	高の原小学校(会議室)	兎本 倉 高味 炭本 西岡努 吉元
11月11日(日)	14:00～16:00	梅美台小学校(ランチルーム)	伊藤 尾崎 呉羽 七条 柴田 中野
	19:00～21:00	市役所(住民活動スペース)	尾崎 島野 中野 長岡 西山 深山

※ 事前のお申し込みは不要です。どうぞ、お気軽にお越しください。

※ 問い合わせは議会事務局まで。TEL 0774-75-1240

平成24年 第4回(12月)定例会予定

月	日	曜日	会 議 ・ 委 員 会
11月	22日	木	議会運営委員会 (議会招集告示)
	30日	金	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等
12月	3日	月	本会議 (予備日)
	4日	火	総務文教常任委員会
	5日	水	厚生常任委員会
	6日	木	産業建設常任委員会
	10日	月	補正予算特別委員会
	11日	火	クリーンセンター建設特別委員会
	13日	木	本会議 一般質問
	14日	金	本会議 一般質問
	17日	月	本会議 一般質問
	18日	火	本会議 一般質問
	19日	水	議会運営委員会
	20日	木	本会議(閉会) 議案採決等
	21日	金	本会議 (予備日)

- 日程については、変更となる場合があります。
- 本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行なわれ日程が確定します。
- 本会議・委員会は9:30からはじまります。どうぞ傍聴にお越しください。
- 次回議会日程の他、今までの本会議の様様や会議録について、市のHP(市議会)から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

組合議会報告

案内看板を設置

内看板を立てる事が決まった。

(加茂笠置組合)

8月28日、定例会開会。

23年度の決算

2121万円

全員賛成で認定

24年度の補正予算

27万円

嘱託職員賃金が当初予算と違った金額の契約で支払われていたことが補正予算で判明した。支所機能の変更に伴うものだが、事前に議会に説明すべきとの答弁があり、今後改善すべきとの要求があった。

今年度、加茂笠置の共有の四ヶ村山に7基の案

賛成多数で可決

無線のデジタル化進む

(相楽中部消防組合)
8月10日、臨時会が開会。議案1件を審議。

24年度当初予算に1千365万円を追加し、総額を13億6185万円とするものである。

消防救急無線のデジタル化に向け、電波調査、ボーリング地質調査などを行い、消防救急無線のデジタル化に備えた実施設計の補正予算である。

全員賛成で可決

補正予算

などを審議

(府後期高齢者医療広域連合)

8月24日、第2回定例会を開会。承認2件、議案2件、認定2件を審議。

副広域連合長に京丹後市長中山泰氏を再任した。

23年度後期高齢者医療会計補正予算は、保険事業費の増額で総額2773億8825万円。

24年度後期高齢者医療会計補正予算は、繰越金により総額2922億145万円。

全員賛成で可決

「社会保障制度改革推進法の撤回を求める」意見書は不採択。

差し押え

実績が倍に

(京都地方税機構)

8月11日、定例会開会。

副連合長に京丹後市長中山泰氏を選任。

23年度一般会計報告。

決算内容は、歳入22億976万円、内訳は負担金21億2千272万円(市の分は6146万円)、歳出は22億964万円で、派遣人件費15億7千978万円、残りは事務費。

収納率は40・8%で前年度比6%向上した。4名の一般質問があった。

賛成多数で承認



美しい茶畑が広がる加茂笠置周辺の風景

史跡の保全が後退していないか

長期的に文化財保護に努める



民主改革クラブ
炭本 範子

Q 23年度に事業を計画し、予算をつけたが執行しなかったのは。

A 教育部長 恭仁宮跡と椿井大塚山古墳の整備事業。

Q 今後、進める事業は。

A 教育部長 整備・活用は総合行政として取り組む必要がある。文化財保護審議会の意

見を聞き、総合計画の中で整備を進める。

Q コスモス祭りの支援を。

A 市長 考えていない。

耕作放棄地解消を

Q 農地法改正により、遊休農地は減ったか。

A 建設部長 42haから34haに。本年度から、「京力農場プラン」の作成と保全管理活動への支援や青年就労者の育成を実施し、耕作放棄地の解消を図る。

Q 近隣の耕作者に迷惑をかけないための対策は。

A 建設部長 農地パトロールの強化など徹底した管理は必要だ。あつせんも含め指導や通知また監視をしていきたい。



恭仁宮跡の整備活用は

行政改革・行財政改革の考え方は

健全財政で魅力ある市を引き継ぐ

Q 子や孫の世代にツケを残さないとは。

A 市長 現在は未来の子どもたちからの預かりものであり、現在の負担を安易に将来世代へ押しつけてはならない。

Q 行政の仕事は事業ごとと市民にわかってもらえるように、説明でき

る資料などを作成しては。提供の充実について重要なことであると認識している。

総合的に紹介している「暮らしのガイドブック・広報きづがわ・HP」で行っている。



きづがわ未来クラブ
兎本 尚之

Q 議会や議員に対して、理解してもらおうという意識が低く感じるが。

A 副市長 必要に応じて常任委員会や全員協議会などで説明・報告をしている。

今後も理解を得よう努める。

Q 電気使用を控えている中での取り組みと効果は。

A 生活環境部長 エネルギーの適正使用や電気機器の合理的な使用。7月の実績では22年度比18%削減を達成。

Q 職員研修の頻度は。

A 市長公室理事 年間68回、延べ1783人が受講している。専門分野におけるスキルアップを図っている。



行政情報提供の充実を



病院用地のその後の活用は

子どもたちが健やかに育つために

学校敷地内全面禁煙を検討する

Q ①市の禁煙教育の状況は。全面禁煙の考えは。

また、京都禁煙推進研究会（医師看護師等で構成）の活用をしては。②地域の美化運動などに子どもたちの参加を。また、職場体験を地域の行事まで拡大しては。

A 教育部理事①各学校で指導要領に基づき実施。校内は分煙。今後は、法の主旨にのっとり検討。

禁煙推進研究会の活用は、学校に啓発する。②地域行事などボランティア活動に子どもたちが参加することは大切。



さくら会

倉 克伊

職場体験学習は、小学校から高校インターンシップの線上にある。

26年以降のURは

Q UR所有の高の原北の商業用地について、今後の活用方法は。また、高さ制限の検討は。今後の市とURとのかわり。

A 建設部理事 再度、病院用地として募集。その後、対象事業を拡大し、公募の予定。

高さは制限は、25年3月頃に都市計画審議会に諮問。年度中に積み残しの事項を全庁調査。URの残事業は26年度以降もあり、市との協議は続ける。

保育園送迎バスの廃止を問う

送迎バスの老朽化が主な原因



民主改革クラブ

西岡 政治

Q 市は事業仕分けを受け、やましろ保育園送迎バスを本年度末で廃止の方針を決めた。

(1)送迎バス廃止の理由は。

(2)送迎車両用駐車場の確保は。

A 保健福祉部理事①

②国が定めた保育時間が

確保できていない。③送迎に時間を要し、園児に保育園で待せることになっている。④利用できる者とできない者が存在し、保護者間で不公平が生じている。⑤市内他園との統一したサービスの提供。⑥子育て支援に予算を回

したい。

市長②現在、55台分の駐車確保できている。

瓶原地区污水处理方針は

Q ①なぜ、合併浄化槽に変更するのか。

(2)合併浄化槽設置の場合処理方法・維持管理方針事業方式は。

(3)井平尾、岡崎、河原、西地区の用排水路整備は。

ず。

A ①残念ながら市長は理由と根拠を示され

上下水道部長②個人設置、個人維持管理、合併浄化槽設置補助金5万円上乗せ、定期検査受検費5千円補助する。

(3)国・府の交付金などを利用し、地元施工で実施。



廃止されるやましろ保育園の送迎バス

看板だけで子どもは守れない

市民から礼状が届いている

Q 京都市の祇園と亀岡市で悲惨なひき逃げ事故が起こった。

市の教育委員会の安全対策は、府より大幅に遅れた。

また、ドライバーへの「注意看板」を設置し、それで良しとしている。看板は期待するほど効果

はなく自己満足なのでは。

A 教育部長 警察・府・地域長と協力し、現場確認をして設置したおかげで、多くの市民から礼状が届いている。

いじめを許さない

Q いじめを絶対に許してはならない。教育

委員会の対策は。

A 教育長 早期発見。未然防止に努める。

緑地の整備は市で

Q 里親制度での整備に必要な用具は、なぜ貸せないのか。

A 生活環境部長 危険な用具の貸し出しは、



深山 國男

慎重な協議のうえストップした。

Q 南加茂台1丁目の市の緑地の管理は、要綱に反している。

市がわれわれの代わりに緑地の整備をすべきだ。
A 生活環境部長 現地を確認しながら整備を行う。



里親制度で整備している緑地

介護ポイントの導入を

他市の効果を調査する

Q 高齢者ボランティアへの支援の取り組み

A 保健福祉部長 社協の「ふれあいサロン」の活動に助成している。行われていない地域には、きつかけづくりや支援を行い、新たなサロンづくりに努める。

Q 高齢者ボランティアにポイントを付与し、商品券等に交換する制度を導入しては。

A 保健福祉部長 良い制度だが効果に疑問。調査していく。

Q がん検診率向上のため

A 保健福祉部長 全対象者に個別に通知している。
Q 未受診者へ夜間や休日診療の病院を紹介しては。
A 保健福祉部長 H Pで周知していく。
Q 胃がん予防にピロリ菌除去が有効とされる。助成をしては。



公明党 柴田はすみ

A 保健福祉部長 国の動向をみる。

虫歯予防にフッ素洗口を
Q 虫歯予防に、多くの小中学校でフッ素塗布や洗口をしている。市でも導入しては。

A 保健福祉部長 予防効果は実証されているが副作用について議論されている。関係者と協議していきたい。
Q 水道水のフッ素化に
A 保健福祉部長 今



がん予防にピロリ菌検査を

Q 基本チェックリストの実態検証後の事業実施は現状でよいのか。

A 保健福祉部長 ころ ばん塾、健康ばんざい、元気デイを今後も実施する予定。

Q 特定健診の受診は予防医療に成果があるのか。

A 保健福祉部長 1人でも多くの方に健康指導を受けて頂く方法を検討していく。

Q 地域密着型サービスの現状と成果は。

A 保健福祉部長 加茂圏域は、24年7月に事業者を決定。25年度開設予定である。

Q 介護予防事業の見直しを早急に

A 保健福祉部長 事業を統合すべきである。

Q 介護保険抑制のため1次・2次予防の事業を統合すべきである。

A 保健福祉部長 事業内容が似ているため、両方に参加があり、見直したいと考えている。

Q 市長賞制定を進めよ

A 優れた人々や地域で

Q 市長賞制定を進めよ

A 保健福祉部長 事業内容が似ているため、両方に参加があり、見直したいと考えている。

Q 市長賞制定を進めよ

A 保健福祉部長 事業内容が似ているため、両方に参加があり、見直したいと考えている。



トレーニングで出会いが楽しい毎日

来年度事業実施に向けて見直す



民主改革クラブ
河口 靖子

ボランティア等で活躍の個人・団体を表彰してはどうか。

A 市長 できるだけ早く、つくりたいと思っています。

Q 街区公園の管理を住民に

A 公園の管理を住民に任せてはどうか。

Q 建設部長 地域や自治会単位に25年度に検討、26年度に実施の方向で考える。個人は避けたい。



上下水道管は大丈夫か

放課後児童クラブの改善を

全体的予算もあり研究する

Q 特別支援学級児童の受け入れ体制は。親が安心して預けられるよう支援を。

A 保健福祉部理事 児童の入会に応じ、1人の加配指導員を増員し、全員で見守っている。

市長 他市の事例もあり支援には十分研究する。

Q 高齢者肺炎球菌に助成を

A ①インフルエンザと同じように肺炎球菌ワクチンも予防効果が期待できるので、公費助成を。②前立腺ガン検診を個別検診できるよう公費助成を。

A 保健福祉部長①国の

Q 上下水道管の耐久年数と現状は。修理は万全か。漏水件数は年間何件か。京都市内でも最

A 上下水道管は大丈夫か

Q 上下水道管の耐久年数と現状は。修理は万全か。漏水件数は年間何件か。京都市内でも最



公明党
島野 均

予防接種施策の動向を注視したい。②現在集団検診で対応しているが個別では難しい。

A 上下水道部長 下水道管は30年経過。事後保全で整備完了後、予防保全事業計画する。水道管は、管路延長48.4kmある。漏水修理が多い石綿管は13.5kmで、28年度までに整備する。漏水件数290件あり、配水管76件。あとは給水管である。検査体制がない、今後施設的に耐震補強もあり考える。

災害対策を問う

水害危険箇所を把握して監視する

- Q** 鳴子川を始め天井川の危険水位を確認すべき水位計と、夜間監視できる赤外線カメラを設置する考えは。
- A** 総務部長 計画はない。今後の検討課題。
- Q** 急傾斜地での林野対策・土石流防止対策は。
- A** 建設部長 府・市のは。
- Q** 治山事業で危険箇所を順次工事している。
- A** 総務部長 警戒情報が長時間続いた場合の対応は。
- Q** 自主防災組織代表者と携帯メールを使うことで、伝達が容易になるのでは。
- A** 総務部長 自主防災組織の代表者との連絡方法を整備している。



民主改革クラブ
七条 孝之

スポーツ事故を問う

- Q** 体育授業・スポーツクラブでの事故件数は。
- A** 教育部長 前年度、小学校で124件、中学校で291件。
- Q** 教職員の指導力は。
- A** 教育部長 向上を図る努力をする。
- Q** 武道の実技授業は、専門的技量が求められるが。
- A** 教育部長 柔道実技講習会で、知識・技能の向上を図る。



改修された急傾斜地の神童子



豪雨災害を防災計画に生かせ

いじめをなくしていく学校とは

児童生徒の危険信号を見逃さない

- Q** ①大津市の中学生自殺に関する新聞アンケートにどう答えたか。
- A** 教育長・教育部長 ①報道にあるように「事実の隠ぺいがあるとすれば不適切」と回答。②昨年の市内の学校でのいじめは10件。③教職員定数の改善や加配は要求している。



日本共産党
酒井 弘一

- Q** 黒字を市民へ還元せよ
- A** 市長・保健福祉部長 黒字は基金積み立て
- Q** 国保は、市民が歯を食いしばって払う中、連続して2億円の黒字。市民へ還元を。
- A** 総務部長 宇治市の災害を他人ごととせず、公助とともに自助互助を基本に行う。

や繰越財源に必要。消費税引き上げは国保の健全財政に役立つ。「生命を守る」が第一

Q 企業が名称変更をする場合、まず業績の良い時。次にグローバル化などで事業の拡大につなげたいとの目的がある時。

一方、公営企業である山城病院の経営内容は、市からの負担金が毎年増加している。

A **市長** 25年度予算に計上するため詳細を詰めているところである。

A **市長** 全国から医師・看護師を確保することができ。

Q 経費が不明なのに、新名称を10月7日に発表するのは疑問だ。

A **市長** 60周年の節目に、発表をしたい。

Q 名前を変える理由は。

A **市長** 全国から医師・看護師を確保することができ。

(他に、いじめ問題の課題と対策の質問を行った。)

Q 医療機器の充実や医師・看護師などの給与を上げる方が効果があるのでは。

A **市長** 医療具はかなり先進的な機器を入れている。

公共病院は給与を特別に高くできない。



看板や診療カードの変更が必要に

今なぜ山城病院の名称変更なのか

病院機能のさらなる強化のため



きつがわ未来クラブ

高味 孝之



大規模防災訓練の実施を

いじめ問題の考えは

早期発見・未然防止に努める

Q いじめを受け自殺につながったケースが、全国で取り上げられたが、わが市は。①悲惨な出来事のと、教育部はどのように取り組んだか。②生徒が教諭を信頼できる関係とは。③「子ども人権オンブズパーソン」制度を学ぶべきでは。

A **教育長・教育部理事** ①いじめの対応を各学校に指示。内容はアンケートと教育相談の実施。また、教職員の校内研修でいじめの早期発見に努める。②いじめられる児童生徒を、守り通すことを言葉や態度で示し、日頃から児童生徒の触れ合いを持つよう心掛ける。

Q ①市民の耐震改修や診断の補助金の利用

生活環境部長 ③国連採択の「子ども権利条約」を具現化する条例と認識。市は「人権養育・啓発推進計画」を策定。計画に基づき、子ども権利の意識向上に努める。防災対策の考えは



民主改革クラブ

中野 重高

は。②避難場所の安全性は。③市民参加の大規模防災訓練は。④一人暮らし高齢者の不安解消は。

A **総務部長** ①耐震改修は2件、診断は8件。②地域防災計画で示す。③ハザードマップ作成後に市民を交えて訓練する。保健福祉部長④災害時要援護者台帳を整備し、安否確認をする。

電子入札実施を前に改革を進めよ

今後もきっちり取り組む

Q 来年度からの電子入札実施を目前に確認する。

①業者への説明会の実施を丁寧によ。②入札時提出の内訳書の返却は法律に不整合。直ちに改めよ。③昨年より最低制限価格での落札率が増えて、職員を守る立場で、平な競争に努める。

A 副市長・建設部理事

①今秋に予定。②不正行為の排除に努める。

④可能な限り公表する。ニーズに合わせた事業に重度障がい者の外出支援策「福祉タクシー券」は利用率が低く、利用しづらいとの声を聞く。実態を把握し、ガンリン券の選択制を取り入れよ。



呉羽 真弓

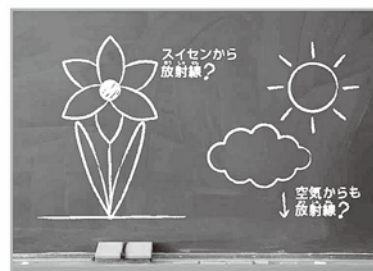
A 市長・保健福祉部長
再検証をし、25年度に結果を出したい。

正確な情報を提供せよ

Q ①昨年度文科省より配布の放射線副読本は、問題点が多い。活用状況は。②府が実施する給食モニタリング検査に参加せよ。

A 教育長・教育部理事
①希望した8小中学校には配布。②参加する。

放射線について
考えてみよう



小学生のための放射線副読本

原発事故後に作成された放射線副読本

買い物弱者対策は

セーフティネットは確保している

Q 買い物物がしにくい地域の地図は作れないのか。

A 生活環境部長
買い物弱者にのみ特化した地図を作成する予定はない。

Q 高齢者の利便性の観点からも、利用率が低く、空気を運んでいる状態のコミバスは、早急

にデマンド型乗合タクシーにしては。

A 市長公室長
今後手法については検証し、デマンド型も検討していきたい。

Q いじめ問題の状況を問う



さくら会
高岡 伸行

A 教育部理事
10件。本年度は7月時点で5件。

Q この件数が正しいのか。徹底した調査が必要では。

A 教育部理事
PTAや各家庭の協力も非常に大事。

Q 深刻ないじめにならないための措置とし

て出席停止を含む、毅然とした厳しい指導が必要では。

A 教育部理事
出席停止は、教育委員会が保護者に対し、発する命令措置。現時点ではとつた事はない。

Q 今後、どのような取り組みを行うのか。

A 教育部理事
全ての生徒を対象に、いじめアンケートを行い、個別の教育相談を実施。



現行のコミバスをデマンド型へ

Q 市では、テストを何校実施したのか。

A 教育部理事 希望校も含め小学校12校、中学校5校。

Q テスト結果の評価に基づいて、学校教育にどう生かすのか。

A 教育部理事 結果は、各学校で児童生徒に

全国学力テストをどう生かすか

今後の学校教育に活用

Q 市では、テストを何校実施したのか。

A 教育部理事 希望校も含め小学校12校、中学校5校。

Q テスト結果の評価に基づいて、学校教育にどう生かすのか。

A 教育部理事 結果は、各学校で児童生徒に



さくら会
山本 和延

Q 市では、テストを何校実施したのか。

A 教育部理事 希望校も含め小学校12校、中学校5校。

Q テスト結果の評価に基づいて、学校教育にどう生かすのか。

A 教育部理事 結果は、各学校で児童生徒に



みんなが楽しめる保育園

小中学生に身近な国際交流を

ALTとの交流を活用する

Q ①同志社国際学院との連携は進んでいるのか。②中学生のサンタモニカ派遣は、事業の丸投げで観光旅行化しているのでは。他町では安価で実施している。③すべての小中学生が参加出来る、身近な国際交流を進めるべき。

A 教育部長①具体的に

ワード
ALT
外国語指導助手



日本共産党
西山幸千子

Q 子どものための保育とは。保育士が園児と同じ給食を食べる事が一番の食育であり、復活すべき。

A 保健福祉部理事 おかずや手作りおやつを増やし、19日を食育の日と設定した。保護者に十分な説明もなく、保育園バス

Q 送迎時の駐車場の不備。バスが運行された経緯を認識し、安全確保を。

A 市長 55台駐車可能。旧町の施策とは別。市になったのだから統一する。

Q 「幼稚園の開園を急げ」は時間切れのため質問で



学習習慣の把握のために

行財政改革の検証は

着実に推進し28億円の財政効果

Q 行財政改革の取り組みの自己評価は。

A 総務部長 合併後のあるべき新市の姿に向けて、市の一体性の確保を中心に、推進する事ができた。

Q 「協働・共生の市政」による推進の結果は。

A 総務部長 地域長会議の開催。NPOとの連携。アダプトプログラ姆等を導入し、地域コミュニティ施策の確立に努めた。

Q 行政体制の再構築は。適正化に努め、人材



きつがわ未来クラブ

西岡 努

育成の研修を実施。適材適所の人事配置をした。

Q 事業仕分けで不要となった事業の見直しは。

A 教育部長 プラネタリウム館は、仕分け結果を尊重し、政策的な観点で決定する。

修学旅行の補助金は、他の教育事業に転換する

事ができないか、市長部局と協議している。

電話交換を市役所の顔に

Q 電話交換手を専門化しては。

A 総務部長 市が実施するイベントや、市内の公共施設の情報など、ワンストップで答えられる内容は、情報マニュアルを作成、専門性を持たせる。



市役所の顔に（電話交換室）



6月の豪雨による災害があった山田地域

火葬場計画の早期具体化を

財政状況が厳しい

Q ①火葬場の必要性の考えは。

②1市3町1村で交わされた環境施設の確認書の重みは。

③火葬場の建設は、人口が最も多い市が先頭で動き出すべきだ。

A 市長 ①合併で多くの課題を抱かえている。

特に、新たな学校・クリーンセンター建設などの事業があり、財政状況が厳しいので慎重に考えている。

②将来的な事業については財政的にも厳しい折、広域で、今後動向を見ていく。

生活環境部長 ③広域の首



片岡 廣

長と協議をしていく事項であると考えている。

防災力が弱い

Q ①避難形態整備は全て万全か。

②生命・財産を守るのが行政の第一義務だ。災害の拡大を防止する対策は。

③2年にわたり当尾・山

田地域で土砂災害が発生した。万全な対応か。

A 総務部長 ①必ずしも万全とはいえない。

②災害の拡大を防止するため勧告・指示等の基準を定める。

28年度に行政無線を市内全域に拡大。

③昨年度は万全な対応をした。

本年度も、予算をつけ対応。

Q 28年4月から京大新農場で研究が始まる。①太陽光発電やバイオマス循環などを利用し、次世代農業生産の研究施設に市はどうかかわるのか。②城山台での研究施設の拠点となり、同じ研究を進める企業へのアプローチをしては。

研究と生産ができるよう、規制緩和を。交通機関の早期整備を。
A 市長・市長公室長
①新農場建設協議会での建設計画の進捗に合わせ、市としてもいろんなプロジェクトへ提言していく。
②研究開発型産業施設が

城山台での京大農場の位置付けは

農のまちづくりのパートナー



合併5周年記念式典

義務と権利のメリハリ有る運営を

そうしていきたい

Q 生活保護は、誰もが陥る可能性がある。保護の必要な人には基本的人権に沿って保護し、払うべき税や手数料は徹底して徴収するのが筋である。
滞納が増えているが、強制手段を取ってでも徴収すべきである。
A 市長 公平の観点か

らもそうすべきと思う。
合併5年目の検証を
Q 式典より施策の検証が必要。
①財産区のあり方。
②駐輪場の有料・無料。
③団体への補助金支給。
④社会教育施設の配分など旧町の既得権が残っている。整理すべき。

⑤合併前と後との比較表を広報に掲載すべき。
A 総務部長①管理委員と協議する。
②早急に整理する。
建設部長③今後、公開し公募する。
教育部長④市の施設全体を一つとして考えて欲しい。
市長公室長⑤事あるごと



曽我千代子

に掲載してきたが、総括的な内容は、後期基本計画策定と併せて掲載していく。

住民要望から

Q ①情報は市民のもの公開は簡素化すべき。
②防災無線を設置せよ。
A 総務部長①引き続き努力する。
②市内全体の設置に向け調査・実施設計の予定。



さくら会
伊藤紀味枝

立地できるよう府と協議したい。
JR奈良線複線化に向け早期実現をめざす。
東中央線に関連する道路は29年度末に開通予定。
観光資源づくりを

Q ①観光乗り合いタクシーを試行しては。

②木津川アートの今後は。
③「井関川水辺づくり」で新名所づくりに。
A 生活環境部長
①実現に向けた検討を観光協会に提案している。
②持続可能な開催方法を検討。
③市民参加型で関係機関の意向を踏まえていきたい。



木津川アートの今後は

わたしの意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。(220字以内)



福井佳代子 さん
(山城町上粕)

「声かけ」の 大切さ

娘の通勤中、近所の交番のおまわりさんが声をかけて下さいます。挨拶はもちろんの事うつむいて歩いていると「どうしたんや? いじめられたら言いや。」と

気にかけて下さり、一家団欒の話題にのびります。現在、人と人とのコミュニケーションが希薄化している中、まだまだ山城町は捨てたものではありません。娘をもつ親として嬉しく、安心して家から送り出せます。改めて、いたわりの声掛けが大切だと思います。温かく優しいおまわりさん! いつもありがとうございます。

お知らせ

12月定例会は11月30日(金)からはじまります。
詳しい日程は、12ページをご覧ください。

訂正とお詫び

第21号のわたしの意見でお名前のまちがいが
ありました。正しくは、山崎恵津子さんです。



池田 邦彦 さん
(加茂町銭司)

長年の願い

私たちの地区は、昔も今も道路事情に困っています。昔、加茂小学校へは木津川を「渡し」で渡してもらって登下校しました。今も、急速な「車社会化」で地区を横断する国道は、

日に1万5千台(大型車30%)の通行があります。危険・騒音・振動など困った状態を、湾漂山トンネル十菜切新橋を機会に、京都府・木津川市より「改良工事早期着手」の方針が示されました。

長くお願いしてきた一員として、遅れましたが深く御礼を申し上げます。



坂元 恭子 さん
(木津宮ノ内)

子どもの成長

秋になると、木津のまちは太鼓の音と共に活気付きます。市指定文化財にも指定されている「木津みこし祭り」が始まります。私の息子は現在、敬神組という組織で担ぎ手として

活動させていただいています。そこでは幅広い年齢層の方が一緒になって、祭りを盛り上げるために頑張っています。いろんな世代の方と触れ合う中で、時には誉められ、時には叱られ、学校では学べない人間教育の場になっています。これからも祭りを通じて、更に成長してくれるよう、期待しています。

広報編集委員会

委員長 高 味 孝 之
副委員長 呉 羽 真 弓
委員 高 岡 伸 行
委員 河 口 靖 子
委員 柴 田 尚 之
委員 西 山 幸 子
委員 片 岡 廣

編集後記

「議会だより」の編集に携わって、1年半になります。新人議員にとって、議会運営等の基本的なことをたくさん学ぶことができ、楽しく活動しています。

毎号、委員一同どうすれば皆さんに、市政の状況を分かりやすくお伝えすることができると、悪戦苦闘しています。

秋も深まり、人恋しくなる季節ですね。この「議会だより」を会話のきっかけにして頂ければ嬉しいかぎりです。

(柴田はすみ)